

ロジスティクス環境会議
第4回リバースロジスティクス調査委員会

2004年6月3日(木)14:00~17:30
日本通運(株) 本社 15階 第5会議室

次 第

1. 開 会

2. 第1回勉強会
 - 1) 富士通(株) 新村氏
「家庭系使用済みパソコンリサイクルについて」
 - 2) リコーロジスティクス(株) 菅田氏
「循環型ロジスティクスシステム構築による物流サービスの高度化」

3. 第1回分科会
 - 1) 自己紹介
 - 2) 活動テーマ(対象品目)について

4. 全体サマリーと次回予定

5. 閉 会

【配布資料】

- 資料1 : 勉強会・分科会の運営と進め方
参考資料1 : 分科会(調査)活動の進め方(例)
参考資料2 : 分科会議事録見本
参考資料3 : 第3回委員会 議事録

以 上

勉強会・分科会の運営と進め方

1. リバースロジスティクス調査委員会（全体委員会）活動・・・開催頻度1回/2ヶ月

14:00～15:00	【第1回勉強会】 ・富士通(株) 新村氏 ・リコーロジスティクス(株) 菅田氏
15:00～17:00	【第1回分科会】 ・自己紹介 ・取組みテーマ（対象品目）の検討
17:00～17:30	【全体サマリーと次回予定】 ・各分科会より検討内容の報告 ・次回予定
(17:30～)	(第2部：懇親会 自由参加ですが是非ご参加ください)

2. 分科会（グループ）活動・・・開催頻度1回/月（集合方式、又はeミーティング方式）

- ・業種（製品）別に複数グループ編成を行い、リバースロジスティクスの視点から、将来のあるべき循環型ビジネスモデルと、その実現課題の抽出と解決策について検討を行う。
- ・委員会（全体会）では、各分科会グループより、以下の各項目について発表していただく。
- ・発表項目については、委員会期日までに各分科会にてまとめ、事前に事務局までメール添付にてお送りいただく。

1) 4回委員会 / 6月3日（木）

- ・取組みテーマ（対象品目） 本日の分科会終了後、検討内容をご報告いただきます

2) 第5回委員会 / 7月22日（木）

- ・取組みテーマ（対象品目）
- ・調査項目

3) 第6回委員会 / 9月22日（水）

- ・現状、課題
動脈物流も意識する

4) 第7回委員会 / 12月3日（金）

- ・解決策
ビジネスモデル概要の記述（含前提条件）

5) 第8回委員会 / 05年1月

- ・提言
法規制への改善要望、リサイクル製品（商品）への社会支援の要望等

3. 見学会活動・・・3回程度/年 希望者を募って実施

第1回（予定） 日 時：7月5日（月）14:00～16:00

見学先：(株)テルム（横浜市鶴見区） <http://www.term-g.co.jp/>
東芝グループの廃棄物処理、リサイクル

第2回（予定） 日 時：11月5日（金）午後～6日（土）午前中

見学先：北九州エコタウン

見学に関わる費用（交通費等）は各自ご負担となります。

【2004年度委員会、分科会開催予定表】

	2004年										2005年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. リバースロジスティクス 調査委員会	第3回 4/27(火)		第4回 6/3(木)	第5回 7/22(木)		第6回 9/22(水)			第7回 12/3(金)	第8回		第9回	
2. 勉強会			第1回	第2回		第3回			第4回	第5回		第6回	
3. 分科会(グループ)			リコーロジスティクス(株) 富士通(株)										
1) 家電・OA機器G			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
2) 自動車G			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
3) 食品G			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
4) 物流グループ			第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	
4. 見学会			第1回(関東近郊)				第2回(北九州)				第3回(関東近郊)		
			7/5(月)			11/5(金)~6(土)				2/ 上旬			

以 上



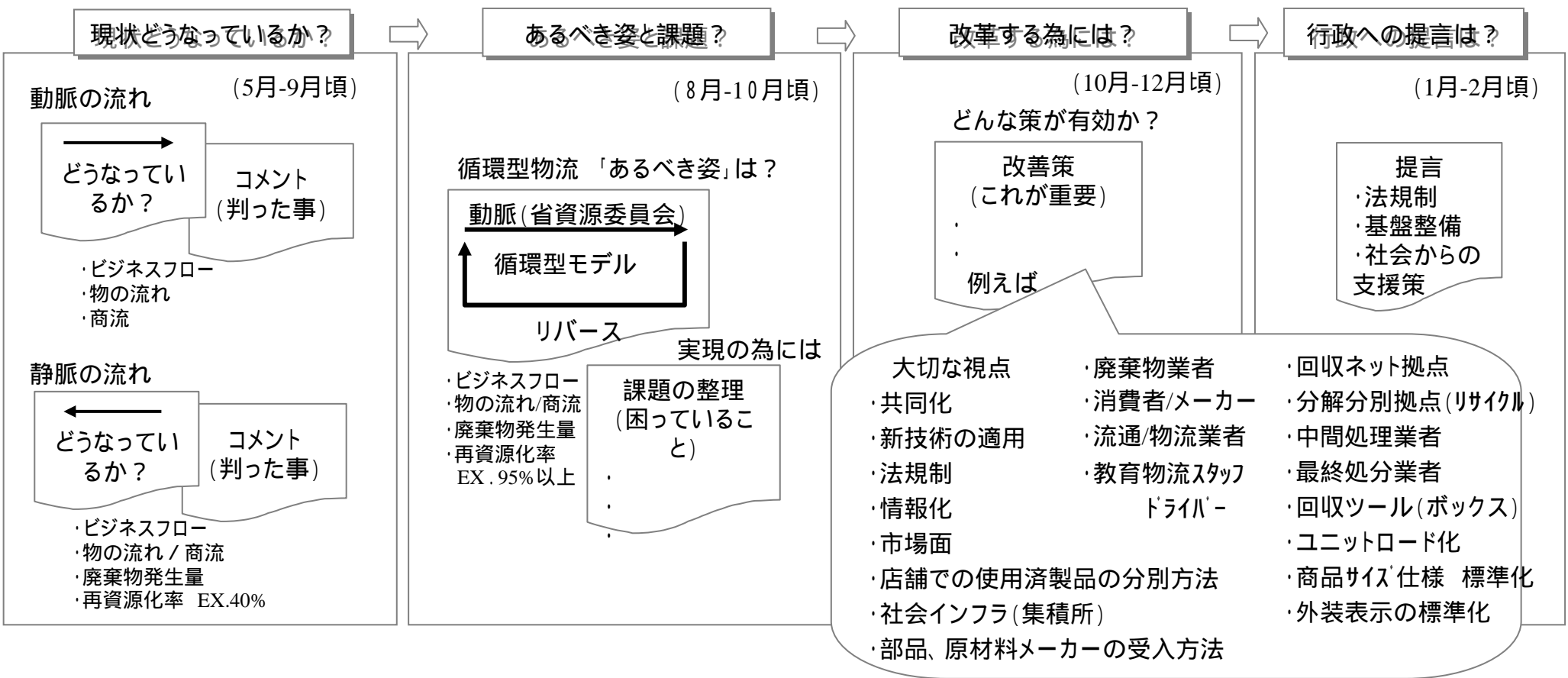
04年4月27日

分科会(調査)活動の進め方(例)

対象品目 分科会メンバーで選定

例 家電 ・既存4品目(リバース開始済) …視点 スタートしたがまだ非効率であり、改善余地有り テーマ選定しても良い
 ・未実施品目(これから始まる) …視点 4品目と同じようにスタートする為には、何が前提となるか？どんな注意が必要か？
 VTR,オーディオ、電子レンジ等 どのような条件・環境を整備すれば良いか？

進め方



ロジスティクス環境会議

第 3 回リバースロジスティクス調査委員会 議事録

・日 時：2004年4月27日(火) 15:00～17:00

・場 所：東京・港区 芝パークホテル 本館2F 桜

・出席者：33名

・議 案：

- 1) 委員会・分科会・勉強会の運営と進め方について
- 2) 分科会(グループ)の構成について
- 3) その他

・開 会

定刻、菅田委員長により、開会が宣された。

・リバースロジスティクス調査委員会の活動計画について【資料1】

菅田委員長より、資料1に基づき、当委員会の活動計画が第2回本会議にて承認された旨の報告がなされた。

・議事の経過

1. 議 事

開会に先立ち、稲束専務理事より、本会合をもって分科会構成を確定していただきたい旨の挨拶が行なわれた後、菅田委員長の司会進行のもと、以下のような議事が行われた。

1) 分科会(グループ)の構成と委員会・分科会・勉強会の運営と進め方について

【資料2、3、4】

菅田委員長より、資料2に基づき、アンケート結果の報告がなされた。引続き、資料3、4に基づき、分科会構成と委員会等の運営と進め方について説明がなされた後、以下のような意見交換がなされた。

【意見交換の主な内容】

【委 員】分科会を構成するにあたっては、実務として携わっている方がメンバーに加わっていないと調査等を行い、まとめるのは難しいのではないかと。

【委 員】家電グループとOA機器グループは統合しても良いのではないかと。

【委 員】自動車グループと建設グループは希望人数が少ない。特に建設は直接的に実務に関わっているメンバーが少ないため、分科会としての設置を再度検討した方が良いのではないかと。

【事務局】運営面から考えても、分科会は多くても4グループには絞った方が良いのではないかと。

【委 員】各分科会では、荷主企業と物流企業が一緒に検討するようになっているが、荷主企業と物流企業では検討する視点が異なるのではないかと。

- 【委員長】環境会議では、荷主企業と物流企業が共に考えることが大きなポイントである。
社会システム、ビジネスモデルとして成り立つ仕組みを荷主企業と物流企業で是非
考えて欲しい。
- 【委員】荷主企業と物流企業が同じテーブルで議論する場合、コスト面だけでは単純な運賃
問題になるケースが多いため、この会合では「効率性」という視点を中心に検討を
行なうべきではないか。
- 【委員】提言は委員会別に行なっていくのか。
- 【事務局】提言については、委員長ミーティング、企画運営委員会で各委員会の提言を確認し、
調整させていただく。

以上のような意見交換が行われた後、菅田委員長より、以下のような確認がなされ、全会一致
にて承認がなされた。

- (1)分科会は以下のとおり4つの分科会を構成する。
家電・OA機器グループ
自動車グループ
食品グループ
物流グループ
- (2)分科会・勉強会・見学会の運営と進め方については、資料3のとおり行なう。
分科会のスタートは次回6月とする。
- (3)次回委員会までに、各分科会で検討すべき項目等をご検討いただく。

2) その他

- (1)今後のスケジュールについて
第4回委員会および第1回分科会は、次のとおり開催することが確認された。
日時：2004年6月3日(木)14:00～17:30
会場：未定

2. 閉会

以上をもって全ての議事を終了し、菅田委員長は閉会を宣した。

以上